

平成 28 年度 事業報告書

(自) 平成 28 年 4 月 1 日

(至) 平成 29 年 3 月 31 日

1. 事業の概況

平成 28 年度も会員ゴルフ場を取り巻く環境は、厳しい状況が続きました。ゴルフ場入場者数は、速報値によりますと、ほとんど前年と変わらず、8,682 万人 (+0.2%) でしたが、その内訳は非課税ゴルファーが 45 万人増加し、課税ゴルファーが 30 万人減少しています。全体を占める非課税ゴルファーの比率が年々高くなり、平成 28 年度では 18%を超えています。その比率が最も顕著な神奈川県では 28.7%にもなり、さらに高くなることが予想できます。

過去 10 数年の現象と同様に、70 歳以上が年々増加し、30 歳代、40 歳代ゴルファーの減少が見うけられます。

一方、ゴルフ場ビジネスの厳しさからゴルフ場撤退が続き、ゴルフ場数は平成 28 年末 (1 月～12 月) で前年より 15 ヶ所減少し、需給関係は少しずつ改善されています。

当会では、あいにく会員ゴルフ場の退会が続いており、寄付収入の減少が止まりません。

創立 41 年目を迎えるにあたり、諸先輩がゴルフのイメージアップのために設立された当会を新しい寄付構造に改善し、将来に備えていきたいと考えています。

2. 会員増等への取り組み

1. 会員ゴルフ場の維持・拡大

厳しい事業環境が続くなかで、新規会員の勧誘、及び維持、継続にも努めてまいりましたが、正会員ゴルフ場の退会がありました。経費節減やソーラーシステムへの切り換えに伴う閉鎖、経営方針の変更、またゴルフ振興金の導入等が主な要因でした。

2. 賛助会員・寄付金の拡大

当会の概要や事業内容、及び支援のお願いを含めた「あらまし」を発行、配布し、またゴルフ業界誌やゴルフ専門ウェブサイト等を通じて PR をしたことにより、ご理解、ご賛同を得、ゴルフコンペを開催された方々や一般の個人、そして企業・団体等から、あたたかい寄付がありました。

ホールインワン・アルバトロスを達成された 97 名の方々や、グリーン&エコ「熱烈ゴルファー」賛同者、永年緑化貢献「エージシュート大賞」受賞者や環境啓発イ

ベントのロハスフェスタ実行委員会からもご寄付をいただきました。

3. 地方緑化事業

1. 緑化協力金の配分

平成 28 年 9 月（第 79 回配分：平成 28 年 1 月～6 月緑化協力金分）と、平成 29 年 3 月（第 80 回配分：平成 28 年 7 月～12 月緑化協力金分）に、地方緑化事業費として 37.9 百万円を[表 1]の各団体に配分しました。

[表 1] ゴルフ場の区分による地方緑化事業費の配分(委託)先 等

ゴルフ場の区分	緑化協力金の配分(委託) 団体	委託事業内容と地方緑化事業費配分額 合計 37,919 千円
①一般 ゴルフ場	都道府県緑化推進 委員会等	公立の小中学校、病院、福祉施設など 社会公共施設への植樹 22,888 千円
②国立公園内 ゴルフ場	国立公園地域内団体等	国立公園等の環境・美化緑化活動 144 千円
③河川敷 ゴルフ場	河川財団	協力ゴルフ場のある水系の河川および その近傍における植樹等 14,887 千円

2. 地方緑化事業

当会が配分した前項の緑化協力金に基づき、各都道府県緑化推進委員会や国立公園地域内団体、公益財団法人河川財団では、緑化推進・自然環境保全のため、植樹緑化事業を推進いただくと同時に、社会環境の変化に応じた植栽樹木のメンテナンスや除伐等、そして地域に喜ばれる花壇の造成、花の種の配布等も事業に取り入れていただきました。

3. 地方緑化事業の規模

当会は、地方緑化事業以外に、次項で述べる「全国緑化事業」、「植樹緑化事業」、「創立 40 周年記念事業」においても、緑化推進・自然環境保全活動を行っておりますが、特に甚大な地震や台風、洪水等を被った被災地支援のための植樹、環境改善、教育環境緑化推進等に取り組みました。 [表 2 緑化実績] 19 頁参照

4. 全国緑化事業

当会では「全国緑化事業」として、全国的視野に立った環境緑化・自然環境保全活動を実施しております。

1. マツ枯れ対策

「松くい虫防除対策」として、東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林で行う抵抗性マツ苗木の開発・改良の研究に対して助成いたしました。昭和 56 年度より毎年継続支援、そして昭和 58 年度よりマツ材線虫病抵抗性アカマツ 31 クロウン（うちアイグロマツ 2 クロウン）からなる採種園による実生苗生産を行い、全国の希望するゴルフ場に配布してまいりました。一方、従来の生産方法が、

予算の見直し等により困難になってきたことを踏まえ、近年、全国的に行われているコンテナ苗による苗木生産が可能であるかどうかが課題のひとつです。そこで、その判断材料のひとつとするため、関東近郊の会員ゴルフ場にご協力いただき、千葉演習林の助教や技術専門職員の方々が、視察調査をいたしました。配布された苗木がゴルフ場でどのように成長しているか測定するとともに、現在の配布苗の状態等についてグリーンキーパーの方々のご意見をいただきました。その結果、どのゴルフ場も根元直径、苗高、当年成長量で同様な傾向が示され、苗は順調に生育していることがわかりました。ゴルフ場としては配布後の管理が容易な点から、苗サイズは現状維持が望ましく、今後、コンテナ苗でどれだけ大きなサイズの苗が生産可能か検討していくことになりました。

また、今年度も同演習林で養成した抵抗性マツ苗木（アカマツ 4年生/樹高 60cm－70cm）を会員、非会員を問わず希望される全国 24ヶ所のゴルフ場に、合計 2,400本を配布いたしました。

2. 緑化貢献の顕彰

会員ゴルフ場でのプレーを通じて緑化普及に貢献いただいたゴルファーの方々の顕彰する制度として平成 19 年度にスタートした『年間最多プレー「緑化貢献大賞」』と『永年緑化貢献「エージシュート大賞」』は、好評を得ています。平成 28 年度は「緑化貢献大賞」が 20 名、「エージシュート大賞」が 10 名でした。それぞれ達成された会員ゴルフ場を通じてトロフィを授与し表彰していただきました。

3. GGG 国立・国定公園支援事業

昭和 62 年より 29 年間継続してまいりました公益信託自然保護ボランティアファンドの後継事業として、今年度新たに開始いたしました。環境省と連携し、国立公園や国定公園において、地域の理解や参加協力を得ながら自然環境の保全を目的に、広範な活動を行っているボランティア団体の健全な活動を支援しました。助成対象事業を明確にし、環境省地方環境事務所または都道府県より推薦を受けた団体の申請のなかから、選考委員会で厳正な審査のうえ選定。29 団体に助成しました。事務局、事務の取りまとめを一般財団法人自然公園財団にお願いいたしました。

5. 植樹緑化事業

植樹緑化事業については、昨年度に引き続き被災地復興支援を念頭に、活動いたしました。

1. 岩沼市玉浦西地区まちづくりを推進

住友林業株式会社が寄贈された『醍醐の桜』の植樹プレートを贈呈いたしました。また、現地視察のおりメンテナンスが必要と判断し、肥料、除草剤等の支援をいたしました。

2. 震災被害を受けた地域等、社会公共施設に対する緑化事業

公益社団法人国土緑化推進機構、各都道府県緑化推進委員会、各地方自治体、NPO法人等と連携し、被災された地域の方々が望まれる震災復興支援事業、植樹緑化事業、環境保全事業等を推進、実施いたしました。

(1) 東日本大震災復興事業GGG海岸植樹祭 (茨城県神栖市矢田部 3,000 m²)

東日本大震災津波の潮風や飛砂被害で荒廃した海岸防災林を再生するため、平成29年2月20日(月)にGGG海岸植樹祭を開催いたしました。造成された前砂丘で潮風を一時的に防ぎ、静砂垣で飛砂を止め、竹垣で囲った防災林跡(砂浜)に客土や施肥、敷き藁を施したところに抵抗性クロマツ1,900本、トベラ90本を植栽しました。一刻も早い復興を願う神栖市の小中学校5校の生徒たち378名、地元の教育委員会、ボランティアの方々を含め、総勢約450名が集いました。また、式典では「いばらき緑の大使」が司会進行を務め、華を添えてくれました。

(2) 浦安絆の森整備事業 (千葉県浦安市日の出 1,700 m²)

公益社団法人国土緑化推進機構、公益社団法人千葉県緑化推進委員会とともに東日本大震災で液状化等による被害を受けた浦安市において、沿岸部の防災機能、及び生活環境の向上をはかるため、多様な樹木を植栽いたしました。土地本来がもっている潜在植生の木郡を中心とした多種類のポット苗を密植し、競合、淘汰させることによる災害や環境変化に強い循環型の森林づくりです。平成28年11月13日(日)に「未来のために森をつなごう ～うらやす絆の森～植樹祭」を、そして14日(月)、15日(火)も続けて植栽し、地元の市民や子どもたち総勢約650名が集い、タブノキ、ユズリハ、スダジイ等、21種の苗木を5,361本植栽いたしました。

(3) 山武市制施行10周年復興植樹祭 (千葉県山武市蓮沼 2,000 m²)

公益社団法人国土緑化推進機構、公益社団法人千葉県緑化推進委員会とともに、東日本大震災による津波の浸水被害を受けた山武市蓮沼の海岸林を取り戻すと同時に青少年の環境学習の機会となるように、平成29年3月11日(土)に植樹祭を開催いたしました。地元の小中学校の子どもたちはもとより千葉県内外の方々、約230名が集い、抵抗性クロマツ苗木2,000本を植栽し、時代を引き継ぐ海岸防災林として生まれ変わりました。

(4) ふくしま復興支援の森づくり (福島県南相馬市 1,000 m²)

第69回全国植樹祭が、平成30年春季に福島県南相馬市(海岸防災林造成地)で開催されます。この福島県の復興シンボル事業を力強く応援するため協賛し、海岸防災林の再生へ向け、大会会場隣接地に抵抗性クロマツ500本を植栽し「ゴルファー未来の森」をつくります。平成29年5月21日(日)に地元の子どもたちや保護者、一般の方々、そして福島県所在のゴルフ場関係者とともに、

賑やかに「ゴルファー未来の森づくり植樹祭」を開催する計画で推進しております。また、平成 28 年 11 月 29 日（火）、内堀福島県知事より当会の支援に対する感謝状が授与されました。

(5) 『東北「海岸林」ものがたり』の‘絵本’と‘DVD’制作

被災地域での海岸林再生活動のひとつとして、公益社団法人国土緑化推進機構の絵本『東北「海岸林」ものがたり』に当会活動内容の紹介も含め、発行いたしました。被災地域や全国の小学校に配布し、道徳や防災教育の時間などで学習教材として活用いただきました。また、被災地における松原再生講座や復興のための NPO 法人、ボランティア団体にも配布し、大人にも子どもにもわかりやすい貴重な資料として好評を得ました。

さらには、既に被災地復興に向けた各地における子どもたち対象のイベントで活用され、楽しまれている同タイトルの紙芝居を、プロの役者により映像、DVD 化しました。イキイキと機微に触れた内容となり、全国の小学校や団体での活用が期待されます。

一般の方々や将来の担い手である子どもたちが海岸林に対する理解をより一層深め、積極的な再生保全活動への参加を導く意義ある事業となりました。なお、制作した‘絵本’‘DVD’双方には、当会の活動についての PR も含めたことで、当会活動周知の役割も果たしております。

(6) 平成 28 年熊本地震復興支援「仮設住宅団地等への木製品提供」

平成 28 年 4 月に発生した熊本地震による被災地域を支援するため、平成 29 年 3 月、熊本市や西原村、益城町の仮設住宅・団地の 10 ヶ所に、間伐材等を使ったベンチやテーブルセット、靴箱、子どもたち向けの室内遊具などを 36 点贈りました。暮らしている方々が共同生活をおくるなかで、住環境が改善されるとともに、緑や木のぬくもりを感じることで、日常が少しでも潤っていただけることを願い実施いたしました。

(7) 震災地域の学校教育環境向上のための緑化事業 (福島県南相馬市)

被災地域において、未来を担う子どもたちの育つ環境改善をはかるため、福島県南相馬市立大甕小学校の敷地内整備（倒木しそうなサクラや樹木等の伐採、新たにサクラやカシワの植樹、東屋の設置等）を推進いたしました。記念式典は、平成 29 年 6 月 29 日（木）に開催いたします。

6. 創立 40 周年記念事業

平成 27 年度下期より実施しております。海岸林再生支援事業などについては、維持管理も含め、3 年から 5 年にかけて丁寧に推進いたします。

1. 「岩手県民の森」サクラ植樹事業

東日本大震災からの一日も早い復興を祈念し、岩手県民の憩いの場である「岩手

公益社団法人 ゴルフ緑化促進会

県民の森」(岩手県八幡平市)がサクラで彩られる名所となるように公益社団法人岩手県緑化推進委員会と協力し、平成28年5月28日(土)、被災された宮古市の方々をはじめ、盛岡市民、自然愛護少年団や地元の子どもたち、保護者の方々、岩手県や八幡平市の議員の方々など総勢260名が集い、盛大に「県民の森サクラ植樹祭」を開催いたしました。年間を通じたたくさんの方々を訪れ楽しめるように、寒冷地に強い異なる11種170本のサクラを植栽しました。今後、健全に成長し、地域の憩いのサクラ公園となるように、補植、下刈等を通じ、見守り続けます。平成29年2月21日(火)には、公益社団法人国土緑化推進機構、及び公益社団法人岩手県緑化推進委員会より、本事業に対し感謝状が授与されました。今年度のホールインワン記念等によるご寄付は、本事業に充当させていただきましたので、ご希望の方々には、お名前を銘板に刻印掲示するように推進いたしました。

2. 東北復興海岸林再生事業 (宮城県亘理郡山元町 2,000 m²)

宮城県が実施している「みやぎ海岸林再生みんなの森林づくり活動」の事業趣旨に賛同し、機能性の高い海岸防災林の再生と保全に貢献するとともに、社会への普及・啓発を行う計画で推進しました。宮城県、山元町と三者協定を締結し、山元地区0.3haに3年かけて抵抗性クロマツ苗木を1,500本植栽する「golfer未来の森」造成です。公益社団法人国土緑化推進機構、及び特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会と連携いたしました。今年度は、第1回目を平成28年5月14日(土)、第2回目を平成29年3月26日(日)に、一般親子ボランティアやみどりの少年団、イオンチアーズクラブのメンバーなど、そして植樹指導員や運営ボランティアスタッフも含め、500本ずつ植樹し、それぞれ立派な看板も立てました。1回目は総勢124名、2回目は総勢103名が集まり、子どもたちは実体験や紙芝居を通じ、海岸林の大切さを学びました。そして植樹の後は、スコップを手作りの木の枝で作ったゴルフクラブに持ち替えてプラスチックボールで遊び、ゴルフの楽しさを知ってもらうと同時に、海岸林ネイチャークラフト体験やいちご狩りをし、山元町の魅力を味わってもらう機会を提供しました。年間を通じ、活着・生育・雑草調査や、雑草除去、及び施肥作業等も丁寧に実施いたしました。本事業は維持管理等を含め、5年に渡り推進いたします。

3. 菌根菌によるマツ苗育成と海岸林再生事業

マツ苗育苗・植栽による健康な海岸の再生を目指して、宮城県名取ハマボウフウの会「ゆりりん愛護会」と連携し、協力団体や一般市民の方々とともに、本事業を推進いたしました。子どもたちの夏休みなどを活用し、親子でマツの播種、育苗の実地体験やマツ苗植栽地の現地見学会をいたしました。子どもたちの健全な育成の一助となるだけでなく、未来の子どもたちが集まり遊べる場の造成につながることを願っての活動です。年間を通じ、抵抗性クロマツ苗やショウロ菌付マツ苗を岩沼市や名取市の多くの地元住民やボランティアの方々とともに、1,500本植樹しまし

た。本事業は3年に渡り継続してまいります。

また、平成28年5月14日(土)、名取市文化会館において開催された海岸林再生プロジェクト「講演&シンポジウム」を協賛しました。「津波被災地における海岸林造成の問題点」について、大阪工業大学工学部客員教授の小川眞氏による講演後「海岸林再生と市民活動」というテーマで、岩手、宮城、福島各県で海岸林再生活動にあたる3団体代表の方々によるシンポジウムが行われました。

4. ゴルフ場における植物由来バイオマス利用の手引きの作成、発行

樹木管理の問題点として、マツ枯れ被害、維持管理コストの上昇があります。しかしながら、ゴルフ場で発生する植物系バイオマス量は状況により様々であり、どのような利用方法がゴルフ場に最適であるか判断が難しいのが現状です。また近年、バイオマス活用推進基本法が成立(平成21年6月)、水循環基本法の施行(平成26年7月)、そして食品リサイクル法(平成13年施行)等の現代社会の動向に鑑みると、自然資本(生物多様性—さまざまな動植物、生態系、大気、土、水、等)の運用や廃棄物の循環処理に一定のコストをかけてうまく回収し賢く使う時代になりつつあるといえます。このような背景を勘案し、ゴルフ場で発生する樹木や芝草は自然資本という考え方にたち、経営資本のひとつとして、いかに循環的に有効に管理するかを提示したものです。

本手引き作成、発行にあたり、佐藤明(元東京農業大学教授)氏より専門的な助言を、そして一般財団法人日本緑化センターに調査、編集などのご協力をいただきました。本手引きが、ゴルフ場管理に植物由来バイオマスの循環利用を導入する契機となり、廃棄物循環利用へ取り組むことで、プレイアビリティ向上とコース管理の経営改善、ひいてはCO₂排出削減による地球温暖化防止に貢献する環境改善への一助となるものとして完成いたしました。

5. 植物系バイオマス再生エネルギー化助成事業

ゴルフ場の植物系バイオマス(剪定枝、伐採木、刈草)を再生し、活用できる肥料やエネルギーに転換させるための助成事業に取り組むべく推進してまいりました。実施している企業やゴルフ場等を視察、また廃棄物処理に苦慮しているゴルフ場の実態を把握するためのヒアリング調査、さらには地方自治体と会合を重ね、可能性を、また方法論等を模索、検討いたしました。一年をかけて取り組んでまいりましたが、地方自治体等のルールにより実施することが困難と判断いたし、残念ながら本事業は断念いたしました。

6. GGG 松くい虫対策助成事業

多くのゴルフ場を悩ませている松くい虫被害に対応するため、平成23年度～平成27年度「ゴルフ場の樹木管理セミナー」を開催してきました。東日本地区、西日本地区と年2回、ゴルフ場経営者、支配人、グリーンキーパーを対象に、一般社団法人日本ゴルフ場経営者協会との共催により専門家や専門業者の協力を仰ぎ、座

学と実習を通し実施してきました。平成 27 年 1 月～2 月に日本ゴルフ場支配人会連合会とともに行った「ゴルフ場の樹木管理アンケート」調査によるとマツ枯れ被害木は減少しており、本セミナーの成果と考えられます。しかしながら、1. マツ枯れ被害がある (74.8%) 2. 樹木が芝草を衰退させている (71.3%) 3. 樹木管理コストを増やしている (53.7%) ということも、上位 3 点として明らかになりました。

そこで、松くい虫による被害木の処理費用を助成し、ゴルフ場の運営管理を推進しやすくすることで、ゴルフ場の健全な緑化、環境保全の促進を目的に、松くい虫対策助成事業を新たに推進いたしました。松くい虫で苦慮されている全国のゴルフ場を対象に、申請条件・方法等を案内しました。平成 29 年度 5 月に厳正に審査し、助成する計画です。本事業については、平成 28 年度第 8 回常任理事会（平成 29 年 1 月 18 日開催）にて検討、審議し、平成 28 年度第 4 回理事会（平成 29 年 3 月 16 日開催）において、審議、ご承認いただき取り組んでおります。

7. 植物系バイオマス環境セミナーの開催

これまでゴルフ場の樹木管理セミナーを開催して、一定の成果はあげられましたが、さらにゴルフ場の抱える樹木管理の問題は、樹木と芝草の競合を回避することに要する費用負担をいかに低減するか、発生する刈草・伐採木等のバイオマスの利用からいかに恩恵を生み出すかが課題となります。一方で、2016 年（平成 28 年）には「ゴルフと健康の関係」と題する論文が英国のスポーツ医学誌に掲載され、エジンバラ大学のアンドリュー・ミュレイ博士は、ゴルフが提供する適度な身体活動は平均余命を伸ばすこと、精神的健康に恩恵をもたらすこと、心臓発作、脳梗塞、糖尿病、乳がん、及び結腸癌のような 40 以上の慢性病を予防し治療に役立つことを指摘しています。

そこで、一般社団法人日本ゴルフ場経営者協会とともに、テーマをゴルフ場の樹木と芝草の健全化、ゴルフ場で発生する植物系バイオマス利用、ゴルフと健康に関する最近の知見についてとし、座学による「ゴルフ場環境セミナー」を開催いたしました。環境と共生するゴルフ場の緑地管理、健康長寿社会の実現に貢献するゴルフとゴルフ場環境をゴルファーや社会に積極的に情報発信することが目的です。平成 29 年 3 月 2 日（木）、TKP 八重洲カンファレンスセンターにおいて、ゴルフ場やゴルフ場管理者、樹木医の方々を対象に実施し、46 名の方々が熱心に聴講されました。今年度は「有機物連用土壌と微生物の働き」「木質バイオマス熱利用の導入ーゴルフ場での課題」「ゴルフが及ぼす健康面のメリット」について、それぞれ、豊田剛己氏（東京農工大学大学院生物システム応用科学府 教授）、川越浩之氏（一般社団法人日本木質バイオマスエネルギー協会 専門調査員）、富田寿人氏（静岡理工科大学 教授）によりご講義いただきました。

[表 2] 緑化実績

区 分		平成 28 年度実績		累 計		
		植樹ヶ所	植樹本数	植樹ヶ所	植樹本数	
地方緑化事業		59	17,019	6,364	1,638,201	
全 国 緑 化 事 業	抵抗性マツ苗木配布 (ゴルフ場対象)	24	2,400	2,188	336,272	
	サクラ苗木配布	—	—	94	1,860	
	その他	—	—	316	96,400	
	震 災 復 興 支 援	抵抗性マツ苗木植樹	7	8,452	14	11,824
		サクラ苗木植樹	2	490	9	1,583
広葉樹苗木植樹		5	5,986	5	5,986	
その他		—	—	2	6,000	
合 計		97	34,347	8,992	2,098,126	

7. その他事業

1. 当会事業の周知、等

(1) ゴルフ業界誌・ゴルフ専門ウェブサイトを通じての PR 活動

ゴルフ業界誌「ゴルフ場セミナー」「ゴルフマネジメント」などを通じ、ゴルフの活性化を念頭に、提言や事業活動の広報・PR を積極的に実施いたしました。また「週刊ゴルフダイジェスト」やゴルフ専門ウェブサイト「ゴルフダイジェスト・オンライン」を通じ、全国の、さらには若い世代のコアゴルファーに向け、当会活動の認知拡大、そして支援者や会員の増強を念頭に、PR を試みました。嬉しくも一般ゴルフファンの方々より、当会活動への新たなご賛同、ご支援をいただきました。

(2) ホームページ (<http://www.ggg.or.jp/>) の充実

フェイスブックを通じて、最新の当会活動について情報を発信いたしました。

2. 緑化推進、環境保全に対する表彰授与

(1) 平成 28 年度 『みどりの日』 自然環境功労者環境大臣表彰

環境大臣による会員ゴルフ場の表彰の実施を平成 15 年度よりお願いしてまいりました。平成 28 年度は、「川崎リバーサイドパーク (ゴルフ場)」が‘生きもの・環境づくり部門’で、永年の緑化普及貢献に対し『みどりの日』自然環境功労者環境大臣表彰」を受賞されました。

(2) 各県による表彰、感謝状授与

ご協力いただいているゴルフ場に対する各県による顕彰・表彰等を繰り返し要

公益社団法人 ゴルフ緑化促進会

請してまいりました。平成 28 年度は「千葉市民ゴルフ場」が公益社団法人千葉県緑化推進委員会から、「嵐山カントリークラブ」「日本カントリークラブ」が公益社団法人埼玉県緑化推進委員会から、永年にわたる緑化普及貢献に対し、それぞれ感謝状を授与されました。

3. ロハスフェスタへの後援・協賛

国民スポーツとしてのゴルフの健全な発展を通じて、国民生活を取りまく環境の緑化推進及び自然環境の保全に資するため「小さなエコが大きなコエへ」と平成 18 年（2006 年）よりスタートしたロハスフェスタを今年度も後援いたしました。

平成28年度 ロハスフェスタ	入場者数	出展数	回収量			
			ゴミ	使用済み 天ぷら油	牛乳 パック	ダウン
ロハスフェスタ東京2016 SPRING 平成28年 4月16日(土)・17日(日) 於：光が丘公園(東京都練馬区)	24,180 人	420 フェース	450 kg	210 L	70 kg	28 個
ロハスフェスタ万博2016 SPRING 平成28年 5月13日(金)～15日(日) 於：万博記念公園(大阪府吹田市)	70,855 人	488 フェース	820 kg	80 L	220 kg	77 個
ロハスフェスタ東京2016 AUTUMN 平成28年 9月17日(土)～19日(月) 於：光が丘公園(東京都練馬区)	42,000 人	336 フェース	730 kg	180 L	70 kg	34 個
ロハスフェスタ万博2016 AUTUMN 平成28年10月29日(土)・30日(日) 11月 3日(木)～ 6日(日) 於：万博記念公園(大阪府吹田市)	122,660 人	619 フェース	1,680 kg	480 L	120 kg	68 個

本フェスタに参加された方々が地球温暖化の防止について考え、日常生活の中でエコを実践することで、未来の子どもたちへきれいな地球を残すためのコエになることを願っています。

また、昨年度に引き続き「ロハスフェスタ東京 2016 AUTUMN」に出展しました。ゴルフを経験したことのない子どもたちに、ゴルフの楽しさ、原点を知ってもらう機会といたしました。大きなカップ（21cm）を目標にパッティングにチャレンジする「キッズゴルフ」です。ナイスイン賞、参加賞を授与。天候にはあまり恵まれませんでしたが、1歳～15歳（平均年齢 6.21 歳）の子どもたち 1,214 名が参加しました。日本ゴルフサミット会議で発表したゴルフ活性化のための戦略目標のひとつである『新規ゴルファーの創造』への可能性を確信するイベントとなりました。

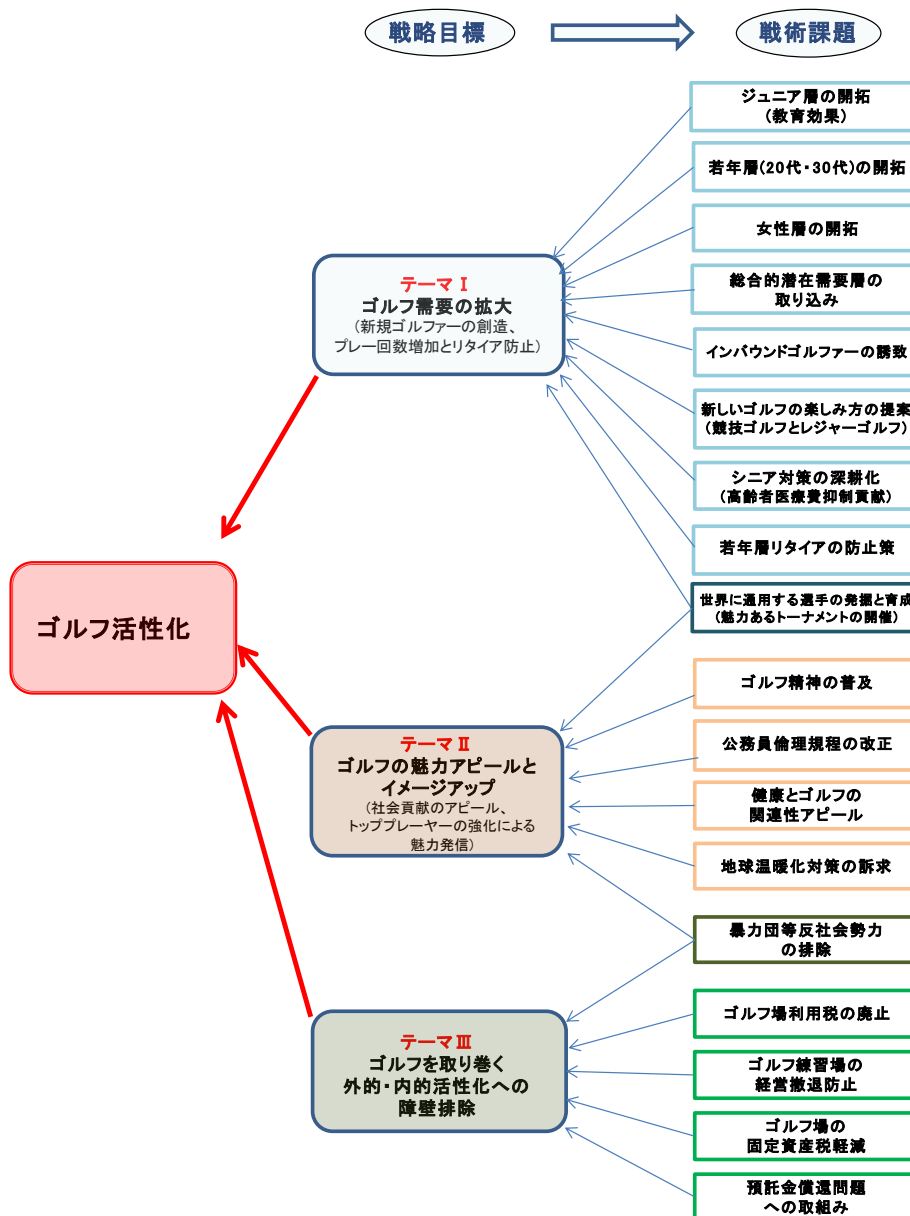
4. 日本ゴルフサミット会議決議によるゴルフの活性化活動

日本ゴルフ界、及び日本ゴルフサミット会議が取り組むゴルフ活性化のための戦略目標である「テーマ I：ゴルフ需要の拡大」については、前項でご報告のロハスフェスタへの出展、また創立 40 周年記念事業として実施した東北復興海岸林再生事業（宮城県亘理郡山元町）における「ゴルファー未来の森」植樹祭[6 項 2]（16 頁記載）では、参加した子どもたちにゴルフの遊びを楽しんでもらいました。どちらも戦術課題『ジュニア層の開拓』につながる活動と心得ます。

「テーマⅡ：ゴルフの魅力アピールとイメージアップ」については、ゴルフウィーク（8月第一週）に「ゴルフの精神」のポスターを制作、全国のゴルフ場へ配布、掲示を促進し『ゴルフ精神の普及』に努めました。また当会の根幹であるゴルファーによる国民生活を取りまくすべての緑化推進及び自然環境保全事業は、『地球温暖化対策の訴求』につながるとともに、本テーマ「ゴルフのイメージアップ」そのものと確信しております。

そして、同テーマ内の戦術課題のひとつ「公務員倫理規程の改正」についても、「テーマⅢ：ゴルフを取り巻く外的・内的活性化への障壁排除」の「ゴルフ場利用税の廃止」についても、日本ゴルフサミット会議の一員として、積極的に活動に参加しました。

ゴルフ市場活性化のための戦略目標と主要戦術課題



平成 28 年度 各種会議の開催報告

1. 理事会・総会の開催状況

(1) 理事会

第1回理事会

日 時 平成 28 年 6 月 3 日 (金) 15 : 00 ~ 16 : 00

場 所 ANA インターコンチネンタルホテル東京

出席数 出席理事 14 名、監事 2 名、計 16 名
(理事総数 15 名)

議 事

1. 平成 27 年度決算の承認 (案) について
貸借対照表、正味財産増減計算書、及び附属明細書、並びに財産目録 (案) について
2. 増員理事選任 (案) について
3. 定款一部変更 (案) について

報告事項

- (1) 岩沼市玉浦西地区まちづくり住民協議会 『醍醐の桜』 贈呈
- (2) 創立 40 周年記念事業 みやぎ海岸林再生みんなの森林づくり活動
- (3) 創立 40 周年記念事業 ゆりりん愛護会 講演&シンポジウム・復興植樹祭
- (4) 創立 40 周年記念事業 岩手県県民の森 サクラ植樹祭
- (5) 会員の入会・退会状況

第2回理事会

日 時 平成 28 年 6 月 23 日 (木) 14 : 50 ~ 15 : 30

場 所 ANA インターコンチネンタルホテル東京

出席数 出席理事 15 名、監事 2 名、計 17 名
(理事総数 17 名)

議 事

1. 役付理事選定 (案) について
2. 理事・監事の費用に関する規程の制定 (案) について
3. 緑化委員会設置要綱一部変更 (案) について
緑化及び環境保全に関する方針 (案) について

報告事項

- (1) GGG 国立・国定公園支援事業

第3回理事会

日 時 平成 28 年 11 月 22 日 (火) 14 : 00 ~ 15 : 30

場 所 ANA インターコンチネンタルホテル東京

公益社団法人 ゴルフ緑化促進会

出席数 出席理事 13名、監事 2名、計 15名
(理事総数17名)

議 事

1. 平成28年度 上半期事業執行状況について
2. 平成28年度 上半期決算報告について
3. 平成28年度 下半期収支見通しについて
4. 広報について

報告事項

- (1) 平成28年度 上半期 会員入会退会状況
- (2) 第8回 ロハスフェスタ東京 2016 AUTUMN

第4回理事会

日 時 平成29年3月16日(木) 14:00~15:30

場 所 ANA インターコンチネンタルホテル東京

出席数 出席理事 15名、監事 2名、計 17名
(理事総数17名)

議 事

1. 平成29年度 事業計画(案)について
2. 平成29年度 収支予算(案)について
3. 創立40周年記念事業 GGG 松くい虫対策助成事業(案)について

報告事項

- (1) 平成28年度東日本大震災復興事業 GGG 海岸植樹祭
- (2) 山武市制施行10周年復興植樹祭
- (3) 週刊ゴルフダイジェスト 誌面広告
- (4) ゴルフダイジェスト・オンライン Web 広告

(2) 定時社員総会

日 時 平成28年6月23日(木) 14:00~14:40

場 所 ANA インターコンチネンタルホテル東京

出席数 出席理事 24名、委任状出席 58名、計 82名
(会員総数104名)

議 事

1. 平成27年度 貸借対照表、及び正味財産増減計算書、及び附属明細書、並びに財産目録(案)について
2. 増員理事選任(案)について
3. 定款一部変更(案)について

報告事項

- (1) 平成27年度 事業報告について
- (2) 平成28年度 事業計画について

- (3) 平成 28 年度 収支予算について

2. 常任理事会の開催状況

第1回 平成 28 年 4 月 20 日 (水) 14:00~15:30

議 事

1. 月次収支報告 平成 27 年度 3 月について
2. (公社) 千葉県緑化推進委員会「平成 27 年度 緑化促進協力ゴルフ場」の推薦について
3. 平成 28 年度 第 1 回理事会 議題について
4. 理事会出席に伴う交通費等について
5. 平成 28 年度 植樹緑化事業について
 - 東日本大震災復興事業 (茨城県神栖市矢田部)
6. 創立 40 周年記念事業について
7. 2016 年 日本ゴルフサミット会議 第 2 回特命委員会
8. 熊本地震への対応について

報告事項

- (1) (公財) 河川財団理事の方より入会申込
- (2) 福島県フォレストパークあだたら 看板完成
- (3) 岩沼市玉浦西地区住民協議会『醍醐の桜』植栽完了
- (4) みやぎ海岸林再生みんなの森林づくり活動協定書締結 [宮城県・山元町・GGG]
- (5) 第 3 回 ロハスフェスタ広島 開催中止
- (6) 日本芝草学会春季大会
- (7) (一社) 日本樹木医会・兵庫大会

その他

第2回 平成 28 年 5 月 17 日 (火) 14:00~15:30

議 事

1. 平成 28 年度 第 1 回理事会 6 月 3 日 (金) 15 時~16 時 於: ANA インターコンチネンタルホテル東京
議題・審議事項について
2. 増員理事選任 (案) について
3. 定款一部変更 (案) について
4. 理事・監事の費用に関する規程 (案) について
5. 緑化委員会設置要綱 一部変更 (案) について
6. 平成 28 年度 定時社員総会 6 月 23 日 (木) 14 時~15 時 於: ANA インターコンチネンタルホテル東京
議題・審議事項について
7. 創立 40 周年記念事業について

報告事項

- (1) 環境省 みどりの日環境大臣表彰 (川崎リバーサイドパーク (ゴルフ場))
- (2) (公財) 河川財団 理事長及び理事の方々との会合

公益社団法人 ゴルフ緑化促進会

- (3) 2016年 日本ゴルフサミット会議 第3回特命委員会
- (4) 日高カントリークラブ訪問 ゴルフ場解放イベント「ちびっこらんど」
- (5) ゆりりん愛護会 シンポジウム・植樹祭
- (6) ゴルファー未来の森 みやぎ海岸林再生みんなの森林づくり活動 マツ苗植樹会
- (7) 岩沼市玉浦西地区 訪問 『醍醐の桜』植樹プレート贈呈

その他

第3回 平成28年6月3日(金) 16:00~17:00

議事

1. 月次収支報告 ①平成27年度3月(決算後) ②平成28年度4月について
2. 平成28年度 定時社員総会 6月23日(木) 14時~15時 於: ANA インターコンチネンタルホテル東京
議題・審議事項について
3. 平成28年度 第2回理事会 6月23日(木) 15時~16時 於: ANA インターコンチネンタルホテル東京
議題・審議事項について
4. ゴルフウィークについて

報告事項

- (1) (公社) 埼玉県緑化推進委員会 委託事業部会
- (2) (一社) 日本ゴルフ場経営者協会 総会
- (3) 内閣府との面談
- (4) 創立40周年記念事業 岩手県県民の森 植樹祭
- (5) 東日本ゴルフ場支配人会連合会 環境管理委員会セミナー

その他

第4回 平成28年7月21日(木) 10:20~11:50

議事

1. 月次収支報告 ①平成28年度5月 ②平成28年度6月について
2. 平成28年度 東日本大震災復興事業海岸植樹祭について ((公社) 茨城県緑化推進機構)

報告事項

- (1) 第67回全国植樹祭(長野県)
- (2) 植物系バイオマス再生エネルギー化助成事業
- (3) GGG 国立・国定公園支援事業
- (4) 第8回 ロハスフェスタ東京 2016 AUTUMN 平成28年9月17日(土)~19日(月)
- (5) 東日本ゴルフ場支配人会連合会セミナー
- (6) 内閣府事業報告提出
- (7) 登記完了
- (8) 会員ゴルフ場被災見舞金 送付
- (9) ゴルフウィーク
- (10) 日本ゴルフサミット運営会議
- (11) 事務所契約更新

会員報告

公益社団法人 ゴルフ緑化促進会

1. 入会、退会、種別変更
その他

第5回 平成28年9月13日(火) 13:30~15:00

議事

1. 月次収支報告 平成28年度7月について
2. 地方緑化事業 第79回緑化協力金 配分 支払について(9月20日支払予定)

報告事項

- (1) 平成28年度 植樹緑化事業
- (2) 2016年 第2回日本ゴルフサミット会議
- (3) GGG 国立・国定公園支援事業
- (4) 内閣府事業報告 修正指摘事項 再申請
- (5) 日本ゴルフ関連団体協議会
- (6) (公社)国土緑化推進機構 総会・臨時理事会
- (7) あらまし 2016年8月版
- (8) 会員ゴルフ場被災見舞金 送付
- (9) 植物系バイオマス再生エネルギー化助成事業
- (10) 日本ゴルフサミット運営会議

会員報告

1. 退会

第6回 平成28年10月4日(火) 10:30~12:00

議事

1. 月次収支報告 平成28年度8月について
2. 平成28年度 第3回理事会 11月22日(火) 14時~15時 於:ANA インターコンチネンタル東京
議題・審議事項について
3. 理事会後 開催会合について

報告事項

- (1) (公財)河川財団 理事会
- (2) 平成28年度普及啓発活動流域調査
- (3) 第8回 ロハスフェスタ東京 2016 AUTUMN
- (4) グリーン・エージ 2016年9月号
- (5) 第79回緑化協力金 配分 支払
- (6) 個人寄付報告
- (7) ゴルフダイジェスト・オンライン Web 広告
- (8) 被災ゴルフ場 報告
湯布院カントリークラブ 4月14日・16日 熊本地震 / 6月豪雨
札内川ゴルフ場 8月末 台風7号・10号
大淀川ゴルフ場 9月 台風16号

公益社団法人 ゴルフ緑化促進会

その他

第7回 平成28年12月15日(木) 13:30~14:30

議事

1. 月次収支報告 平成28年度9月、10月、11月について
2. その他

報告事項

- (1) 第40回全国育樹祭(京都)
- (2) 超党派ゴルフ議連 総会
- (3) (公社)福島県森林・林業・緑化協会 会長・常務、福島県 来会
- (4) 第2回ゴルフ振興会議
- (5) (公社)国土緑化推進機構 海岸林再生活動説明会
- (6) Early Bird Seminar 宮沢洋一先生
- (7) 企業寄付報告
- (8) うらやす絆の森 植樹祭
- (9) 2016年 第3回日本ゴルフサミット会議
- (10) 三木市副市長訪問(バイオマス助成事業)
- (11) 平成28年度 第3回理事会・懇話会
- (12) ゴルフ場利用税廃止陳情(文科省)
- (13) 東大農学部千葉演習林助成
- (14) 平成30年 全国植樹祭 協賛受納式
- (15) サクラ事業(創立40周年記念事業) (公社)岩手県緑化推進委員会訪問
- (16) 東北「海岸林」ものがたり 発送
- (17) 環境省「みどりの日」環境大臣賞推薦
- (18) 東北みどりのきずな再生プロジェクト
- (19) 日本ゴルフサミット運営会議
- (20) (一社)日本ゴルフツアー機構 表彰式
- (21) 東大千葉演習林 マツ苗生育状況視察
- (22) 抵抗性マツ苗木 配布のご案内
- (23) 環境省 農薬による水質汚濁防止指針案

その他

第8回 平成29年1月18日(水) 14:50~16:00

議事

1. (公社)埼玉県緑化推進委員会「平成28年度募金協力優秀団体」のゴルフ場推薦について
2. 創立40周年記念事業 バイオマス助成事業について
3. その他

報告事項

- (1) (一社)日本ゴルフツアー機構 表彰式

公益社団法人 ゴルフ緑化促進会

- (2) 日本ゴルフサミット運営会議
 - (3) 抵抗性マツ苗木 配布申込締切
 - (4) さくらの森づくり (霊山こどもの村)
 - (5) 第 68 回全国植樹祭特別委員会
 - (6) (公社) 埼玉県緑化推進委員会 第 1 回理事会
 - (7) 日本ゴルフサミット運営会議
 - (8) (公社) 岩手県緑化推進委員会 総会
 - (9) 東大千葉演習林 視察調査結果報告
 - (10) (公社) 国土緑化推進機構 海岸防災林ワークショップ
 - (11) 日本ゴルフサミット運営会議
 - (12) R&A 主催サステイナビリティセミナー
 - (13) 第 51 回ジャパンゴルフフェア 2017
- ◇ (公社) 埼玉県緑化推進委員会 理事推薦 任期: 29 年 3 月~31 年 3 月

その他

第9回 平成 29 年 2 月 16 日 (木) 13:30~15:00

議 事

1. 月次収支報告 平成 28 年度 12 月、1 月について
2. 地方緑化事業 第 80 回緑化協力金 配分 支払について (3 月 17 日支払予定)
3. 震災復興支援事業について
4. 平成 28 年度 第 4 回理事会 (3 月 16 日開催) 議題について
5. その他

報告事項

- (1) (公財) 河川財団 挨拶来訪
- (2) さくらの森づくり (霊山こどもの村)
- (3) 高田松原再生講座 (陸前高田市)
- (4) 創立 40 周年記念事業 松くい虫対策助成事業案内
- (5) 太平洋クラブ御殿場コース
- (6) 第 68 回全国植樹祭特別委員会
- (7) (公社) 埼玉県緑化推進委員会 第 1 回理事会
- (8) 日本ゴルフサミット運営会議
- (9) 復興植樹祭
- (10) 創立 40 周年記念事業 松くい虫対策助成事業案内
- (11) 東大千葉演習林 視察調査結果報告
- (12) (公社) 岩手県緑化推進委員会 総会 感謝状
- (13) ゴルフ場環境セミナー
- (14) 海岸防災林再生ワークショップ 2017
- (15) 九州緑化促進協力会 理事会
- (16) 日本ゴルフサミット運営会議
- (17) R&A 主催サステイナビリティセミナー

公益社団法人 ゴルフ緑化促進会

(18) 第 80 回緑化協力金 配分 支払

(19) 第 51 回ジャパンゴルフフェア 2017

その他